
 **犬の登録と狂犬病予防注射を必ず受けさせましょう。**


生後3ヶ月以上になったら、市町村役場で登録手続きが必要です。登録は愛犬の「戸籍」です。


平成00年度
犬鑑札
12345号
〇〇市

平成00年度
狂犬病予防注射券
12345号
〇〇市


 **鑑札と注射済票は首輪など犬の体につけましょう。**

迷子札にもなります。



 **犬はつないで飼いましょう。**


敷地内でつなぐか、逃走しない柵内などで飼いましょう。放し飼いは条例で禁止されています。散歩の時は引き綱をつけてみましょう。




 **散歩中の愛犬の「ふん」は必ず後始末をしましょう。**


ビニール袋などで持ち帰りましょう。



 **捨て犬をしないでね。**

犬は命ある生き物です。一度人に飼われた犬を捨てることは、殺すことと何ら変わりません。繁殖を望まない場合には、不妊・去勢手術をしましょう。



 **しつけをしましょう。**

愛犬は家族の一員であると同時に社会の一員です。飼い主がしつけをしっかりと、みんなに好かれる犬にしましょう。犬との信頼を深めることにもつながります。

 **鳴き声や糞臭など近所に迷惑をかけないように心配りをしましょう。**



あなたの犬がみんなから好かれるために


飼い主としての義務と心がけ

飼い主さんへのお願い

愛犬はあなたの「家族」「恋人」「友人」です！


愛犬をよく見ましょう。

毎日の散歩など一緒に遊ぶ時間を持ちましょう。信頼が深まり、体調異常の早期発見にもつながります。




愛犬も社会の一員です。きちんとしつけをして他人に迷惑をかけないようにしましょう。

正しいしつけは飼い主との信頼を深めます。



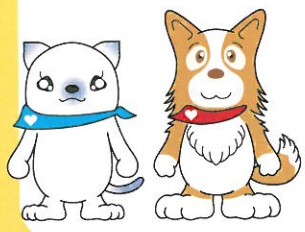
愛情をもって、終生飼いましょう。

愛犬もいつかは亡くなります。最期を看取ってあげることは、私たちにゆぎない信頼を寄せてくれた犬への恩返しです。



犬を飼う前に

- 家族でよく話し合いましょう。
- ↓ **飼うと決めたら**
- 犬についてよく勉強し、迎える準備をしましょう。
- ↓ **一度飼ったら**
- 責任と愛情を持って、一生面倒を見ましょう。



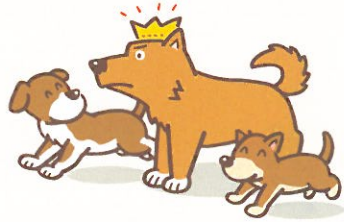
人と動物が共生する豊かな地域社会づくりをめざして

愛媛県動物愛護センター

〒791-0133 松山市東川町乙44-7
TEL 089-977-9200 FAX 089-914-5415
開館時間：午前8:30～午後5:00
休館日：毎週月曜日（祝祭日は開館）
年末年始（12/29～1/3）



「犬の習性」



●群れで生活する。

リーダーには喜んで従います。逆に、強いリーダーがいなければ、自分がリーダーになろうとします。つまり、飼い主が強いリーダーにならないと、わがままで手におえない犬になってしまいます。

●縄張りを持つ。

自分の縄張りを守ろうとします。他人を見て吠えるのはこのためであることが多いようです。



●逃げるものを追う

犬の狩猟本能です。

「犬の健康管理」

●愛犬のための4つの予防

愛犬の健康管理はまず予防から。詳しくはもよりの獣医さんへご相談ください。愛犬のホームドクターを決めておくと心強いですね。

1. 犬の伝染病予防注射。

ジステンパーなど混合ワクチンがあります。年に1回の注射で予防できます。



2. フィラリア症の予防(5月~11月)

蚊から感染する犬の寄生虫病です。犬の心臓に寄生するので命に関わる病気です。のみ薬や注射で予防できます。



「犬のいる生活を 楽しむために」

犬についてよく知ろう。



犬との生活は私たちを癒し、心豊かにしてくれます。
責任と愛情をもって家族で犬との生活を楽しみましょう。

3. ノミの予防



ノミの寄生により、アレルギーや糸虫症をおこします。犬はかゆくてイライラするので性格不安定になります。ノミの予防をしましょう。

4. 歯周病の予防



犬も歯石や歯槽膿漏や歯根膿瘍など歯の病気になります。予防のために愛犬も歯磨きをしましょう。子犬のうちから口の中をブラッシングさせるように慣らしておくといいでしょう。

「犬の世話」



- 毎日の散歩は運動とストレス解消のために必要です。
- シャンプーやブラッシングをして皮膚や毛を衛生的に保ってあげましょう。
- 一日のうち、犬と遊んであげる時間を持ちましょう。

「愛犬のしつけ」

飼い主自身が行うことに意味があります。

犬は人と生活するための社会性を持ち、すばらしい学習能力を発揮します。飼い主自身が、愛犬の社会性を身に付ける手助けをしてあげ、リーダーとして、愛犬を率いてあげなければなりません。これがこそが「しつけ」であり飼い主と愛犬との絆を築く最も有効な手段です。根気のいる作業もありますが、愛犬といっしょに少しづつ楽しみながら行うとよいでしょう。



しつけの基本

- 飼い主がリーダーになる。
- よく誉めてあげてしつけを行う。
- 飼い主によく集中させる。

「犬も家族計画」

繁殖を望まない場合には、飼い主の責任で繁殖制限をしましょう。不妊・去勢手術は犬に害のあるものではなく、不幸な子犬をつくらないうちに最良の方法です。子宮や前立腺の病気のほかいくつかの腫瘍の発生も防ぐことができます。

